

非がん患者における呼吸困難症状緩和のためのオピオイド使用

■ 使用する医薬品

当院採用のオピオイド（MS コンチン錠、オプソ内服液など）

■ 承認日

2025 年 10 月 21 日

■ 対象期間

承認日から見直しの必要性が生じるまで

■ 対象

他の治療では緩和困難な、非がん疾患による呼吸困難のある患者

■ 目的・概要

COPD/間質性肺疾患などの非がん疾患による症状進行により呼吸困難が増悪し、日常生活に支障をきたしている場合、まずは原疾患に対する標準治療および原因治療を行います。これらを行っても呼吸困難が残存する場合に限り、モルヒネなどのオピオイドを使用します。いずれのオピオイドも、呼吸困難に対する使用は添付文書に記載されていませんが、国内のガイドラインで、一部の患者さんには有用であることが示唆されており、他の治療では緩和困難な場合にのみ、非がん疾患による呼吸困難に対しオピオイドを使用します。

■ 実施場所

全病棟、外来

■ 予測される不利益と対策

主な有害事象として便秘、悪心・嘔吐、眠気、依存性、呼吸抑制、錯乱、せん妄などが報告されており、少量から投与を開始し、十分に症状を確認しながら使用します。また便秘や悪心・嘔吐に対しては必要に応じて下剤や制吐剤を併用します。

■ 問い合わせ先

海老名総合病院 医療安全対策室 046-233-1311（代表）